

リサイクルポート（1次指定）概要 ～ 神戸港 ～

神戸港は、瀬戸内海エリアに豊富な内航海運ネットワークを有する特定重要港湾で、背後に阪神都市圏といった大消費地を抱えているとともに、自動車関連事業者が多数立地している。このようなポテンシャルを活用してポートアイランド（第2期）南東部に「神戸港リサイクルゾーン」として、自動車リサイクル関連産業立地に向け準備が進められているところであり、平成15年度に操業が開始される予定である。

具体的には、使用済み自動車の解体・プレス等を行う事業と解体されて発生した部品等を破碎、リサイクルを行う事業の2つの事業が予定されている。
また、これらの自動車リサイクル施設で発生したボディー殻や廃タイヤ、廃プラについては、再生資源として活用するため、姫路港や東播磨港へ海上輸送する計画である。

神戸港ポートアイランド(第2期)

